

【授業の概要】

乳幼児と園生活を共にすることで、園生活のあり方について理解を深め、学内で修得した知識・技術を実習の中で活かし、保育士としての職務を体験する。また、実習で得た体験を今後の学習に活かし、これからの学習の基盤となるようにする。特に乳幼児とのかかわりにおいて、愛情をもって接することで、信頼関係が構築されていくことを体験から学ぶ。

【授業要旨】

回数	授 業 内 容 (実 習 内 容)
1	基本実習Ⅱの意義と目的の理解
2	事前指導を受ける
3	腸内細菌検査を受ける
4	実習園でのオリエンテーションを受ける
5	見学・観察・参加実習
6	部分指導実習
7	実習終了後、実習園に実習記録を提出する・礼状を出す
8	事後指導を受ける
9	実習報告会に参加する
10	今後の課題を明確にする
11	実習記録を本学担当教員に提出する

※授業予定回数と必ずしも合致するものではありません

【評価の方法】

実習園の評価 25%、実習記録 25%、受講状況 25%、提出物 25%

【テキスト】

「基本実習のしおり」第一幼児教育短期大学
その他必要に応じて資料を配布する

【参考書】

「保育所保育指針解説」厚生労働省・フレーベル館
「認定こども園教育・保育要領解説」内閣府・フレーベル館
「実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド」小櫃智子 わかば社
「これだけは知っておきたい わかる・話せる・使える 保育のマナーと言葉」長島和代編 わかば社

【研究】